

平成30年4月開催 福部地域振興会議議事概要

日 時 平成30年4月23日（月）13：30～15：00
会 場 福部町総合支所2階大会議室
出席委員 南部敏、上山弘子、小谷孝文、岸本正枝、坪内悟、濱田香、西尾祥幸、若狭さつき、
平田正雄、早島岳大、北村重政（順不同敬称略）
事務局 支所長、副支所長兼地域振興課長、産業建設課長、市民福祉課長、地域振興課課長補佐

○ 議 題

(1) 福部町総合支所組織図及び担当業務[H30.5.1]について（資料1）

事務局：4月1日及び5月1日付人事異動の内容を報告します。

(2) 平成30年度福部地域の主な事業予算について（資料2）

事務局：本課予算及び支所予算について説明します。今年度の特徴としましては、福部未来学園の特別教室と部室等の改修工事が盛り込まれています。

委員A：砂の美術館は今年度から指定管理者が替わったが、予算規模に変わりはないか。

事務局：予算全体では昨年度とほぼ同規模で変わりありません。

会 長：買い物支援事業について、移動販売車がいつ来ていつ販売が行われているのかよく分からない。周知は十分行われているか。

事務局：この事業はJAが市の補助事業を活用し実施しているものです。

委員A：この事業は儲けよりJAの地域貢献で行われているもの。JAの企業努力に期待したい。

(3) 福部「鳥取新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況について（資料3）

事務局：①防災対策、②産業・観光振興、③交通対策、④教育のあり方の各項目について、昨年度からの進捗状況を説明します。今年度から新たに⑤ファシリティマネジメントの推進、⑥地域内情報伝達の整備、⑦防犯対策、⑧新たなインターチェンジを利用したまちづくりについての項目を加えました。

委員B：項目はあるが、予算か無いものがあるのはなぜか。

事務局：記載の予算は福部町で進捗管理する予算のみを記載しています。

委員B：市の予算要求はいつ頃行われるか。

事務局：来年度の予算編成は夏頃からスタートします。したがって、予算措置が必要なものは、その頃までに協議を進めておく必要があります。

委員C：福部地域では地域内情報伝達の整備が来年度から行われるということで、今年度に各集落が①CATV回線を活用した音声告知専用端末機の設置、②有線放送設備の設置、③地域無線システムの設置の3方式からいずれかを選択していくことになっているが、福部町内全体の情報伝達手段についてはどのように考えているか。

事務局：福部町内全体の情報伝達手段については、緊急情報以外については、支所だよりによる情

報提供のほか、各区長さんを通じての情報提供に移行していくことになります。緊急情報については、現在、屋外放送設備の増設を進めていますので、屋外放送が鳴ったら、緊急情報だといった周知を住民の皆さまに浸透させていきたいと考えます。

会 長：この件については区長会でも協議を進めているが、先行する他地域の状況なども聞き取りして今後も情報提供していただきたい。

事務局：先行する青谷町や佐治町の例を聞き取りして情報提供します。

委員A：塩見川改修工事の見通しはどうか。

事務局：この件については、現在、関係集落への説明を進めていますが、商工会前から栗谷鉄橋前まで15～20年と長期に渡る工事となる見通しです。JA 等関係先への説明については、事業者である県が行うことになっています。

会 長：自治連としても、塩見川改修工事と福部インターの設置については今年度から県要望に盛り込む予定である。

(4) 平成30年度福部地域振興会議の開催スケジュールについて（資料4）

事務局：昨年度の開催状況をもとに今年度の開催スケジュールを提案します。

会 長：5月はらっきょう初出荷前に、7月は視察を中下旬に、8月はしゃんしゃん祭り後に、10月、11月は上旬に、1月には国府との合同会議を福部で、2月は下旬にそれぞれ開催する。

(5) 平成30年度視察候補地について（資料5）

事務局：一部の委員から兵庫県養父市が国家戦略特区として中山間農業改革に取り組んでおり、視察先としてどうかと提案されています。養父市は車で約1時間半で訪問できる場所にあり、福部地域は日本有数のらっきょう生産地でもあり、農業先進地を視察することは福部地域の振興に大変有意義だと考えられます。

会 長：7月中下旬に養父市及び周辺地を視察する。

○その他

事務局：福部町のまちづくり構想(完成版)と、とっとりふるさと元気塾事業報告書(概要版)を資料配布します。

会 長：資料に目を通していただき、次回、ご意見をいただきたい。今後、福部地域の活性化のためにもインターチェンジができ、飲食店や商店がもっと盛んになってほしい。

委員D：砂の美術館売店で地元野菜がマルシェ方式で販売されているがあまり知られていない。地元住民にとっても身近な施設だということを知ってほしい。

事務局：支所だよりなどへの掲載を検討します。

委員B：砂の美術館も指定管理者が替わった今がチャンスだと思う。地元と連携してより活性化してほしい。

委員C：砂の美術館の指定管理者による、より一層のPR活動が必要だと思う。

以上